

# 防災便り

2024年9月1日発行  
第2号(通算72号)  
見明川防災本部  
本部長 阪口 征二  
総務班 牧田 渉



見明川 防災本部 のホームページ : <https://miakegawabousai.jpn.org>  
(見明川防災)

今年は元旦の能登半島地震に始まり、8月には宮崎での地震から、南海トラフ「巨大地震注意」が発せられました。改めて、地震にあった時の行動を確認しましょう。

地震だ!!

その時、あなたは何処に？

## 【その時、屋外、路上なら】



- ・頭を保護し、できるだけ建物から離れる。
- ・ブロック塀の倒壊、落下物や転倒物の危険箇所から離れる。
- ・山の近くでは、落石や崖崩れの危険箇所から離れる。
- ・海の近くでは、避難指示を待つことなく安全な高台や避難場所を目指す。
- ・自動車運転中なら、ハザードを点灯し緩やかに減速、道路左側に停車する。

## 【その時、建物内、公共交通機関なら】

・頭を保護し、陳列棚や吊り下がっている照明の下などから離れ、揺れが収まるのを待つ。出口や階段に殺到せず、従業員の指示に従う。

・エレベーターでは、全てのボタンを押し最初に停止した階で降りる。閉じ込められても焦らずに「非常用ボタン」などで外部と連絡を試みる。

・電車やバスでは、つり革や手すりにしっかり掴まり、乗務員の指示に従う。

・災害発生直後は、沿道の火災や建物からの落下物などで、思わぬ事故に巻き込まれる恐れがある。先ず身の安全を確保し、職場や学校、指定緊急避難所などの安全なところにとどまり、状況が落ち着いてから帰宅する。



## 【その時、自宅なら】

- 頭を保護し、大きな家具から離れ、机の下などに隠れる（就寝時は大きな家具から離れて）。
- 料理中など無理に火を消そうとしない（震度5以上でマイコンメーターの安全装置が作動しガスは止まる）。万一出火しても慌てず、揺れが収まってから消火する（家庭用消火器の備えを推奨）。
- 自分の身や自宅の安全を確認したら、隣近所の安否や出火の有無をお互いに確認しましょう。



- 見明川住宅では、震度5強以上で防災本部員が自治会館に集まり（災害対策本部の立ち上げ）、必要に応じて市との情報連絡や住宅内の状況把握、登録頂いた要安否確認者への安否確認などを行います。住宅内で災害による異常を発見した際は、自治会館の防災本部員までお知らせ下さい。

## 【災害後の避難や外出】

- 災害直後に避難などで外出する場合、電気ガスの復旧による通電火災やガス漏れ事故を防ぐため、必ずブレーカーを落としガスの元栓を閉めましょう。
- 災害後は、偽情報や誤情報がSNSなどで拡散される事例が増えています。テレビやラジオ、国や県、浦安市や見明川防災本部からの正しい情報を基に判断、行動しましょう。
- 「指定緊急避難所」とは、地震や大規模火災の危険から一時的に逃れるための施設で、見明川住宅周辺では弁天ふれあいの森公園が指定されています。
- 「指定避難所」とは、災害で自宅に居住できなくなった被災者が一定期間滞在する施設で、見明川住宅は見明川中学校が指定されています。ただ鉄筋コンクリート構造である見明川住宅は家屋倒壊の懸念が低く、災害後は自宅での避難が多いと想定しています（市などからの支援物資情報は、見明川防災本部から住宅内に展開予定です）。



〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜



## 【今秋の防災イベント】

- 11月17日（日）午前中、見明川小、中学校で浦安市主催の総合防災訓練があり、皆さんに参加をお願いする予定です。
- 見明川防災本部は、市より協力を要請されていて、避難所運営訓練などに参加します。また各種体験、展示コーナーも開設される予定です、詳細が判明次第追ってご案内いたします。